

2023年度児童発達支援又は放課後等サービス事業に係る自己評価結果公表

公表日：2024年2月2日

事業所名：ディスカバリースポーツ

	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価			保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらでもない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導員室等スペースの十分な確保	保育内容の質を保つためにできる限り10名程度にしています。また感染対策と併せて密にならないよう分散して行っています。	23	1		運動の内容に応じて、「安全な環境」を第一にスペースを確保しております。今後も、お子様の成長に合わせて、十分に運動ができる環境を整えてまいります。
	2 職員の適切な配置	指定基準以上の人員は配置しております。	24			お子様の安全が十分に確保できる職員配置を行いながら、充実した活動が実施できるような今後も取り組んでまいります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内は段差がなく、車椅子でも利用可能となっております。また、視覚支援としてその日のスケジュールの掲示などをさせて頂いています。	23	1		視覚支援や生活の自立を促しているような環境を整えております。また、ご利用者様の活動をこまめに観察し、定期的にZOOMでの見学を実施しております。今後も、ご利用者様のニーズをしっかりと把握しながら環境整備に努めてまいります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の消毒後には送迎及び事業所の消毒の徹底と清掃、最新の空気清浄機の導入をしています。	24			毎日プログラム終了後は「消毒・整備」を実施することで、運動器具を大切に扱うという意識が子ども達自身にも認識されているように、今後も、衛生面に十分配慮しながら清潔な生活空間の整備に取り組みしてまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	事業所内、事業所間での定例ミーティングで業務改善の報告検討をしています。				今後も継続して参ります。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価の実施と、それに基づく改善点を事業所全体で共有し課題の改善を行っています。				今後も継続して参ります。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	個人で研修に参加した場合は伝達研修も行っております。また定期的に障がい特性に関する研修なども計画して行っております。				今後も継続して参ります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等サービス計画の作成	利用開始時に聞き取りをさせていただき相談支援事業所のサービス利用計画に基づく計画を作成しています。	24			お子様お一人おひとりの成長を把握しながら、運動に特化した支援が継続できるような職員一同で支援計画を共有する時間を取れています。今後も、ご成長や様子・発達に合わせてプログラムが実施できるような、ご利用者様のニーズにお応えして参りたいと思っております。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援又は放課後等サービス計画の作成	個別活動が必要なお子様に関しては、個別活動と集団活動を組み合わせる計画の作成を行っております。				
	3 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	お子様にとって必要な支援内容の記載と、具体的な支援内容の記載を行っております。	24			
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画に沿った適切な支援の実施	様式や文章の見直しを行い、より具体的な支援内容が置けるようになるよう逐次変更しております。	24			今後も継続して参ります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	チーム全体で活動プログラムの立案を行っております。				
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇でプログラム内容を変えており、そのプログラムに応じた支援を行っております。				お子様の興味や関心を大切にしながら、「スポーツ特化型療育」として、費所ならではのプログラムをご提供していきたいと思っております。今後も、運動を通して「生活の自立や食育活動・社会・自然環境」など、幅広い豊かな経験を大切に取組んで参ります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	緩やかな枠組みの中で毎週違う内容で楽しめるような新しいプログラム内容を計画し実施しています。半期一役内容、時間割を見直ししております。	24			
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に支援内容や役割分担について話し合い機会を作っています。				今後も継続して参ります。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援の振り返りや改善案を検討する機会を作っています。				今後も継続して参ります。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日その日のうちに記録をしています。またミーティングにて支援について検討をし、見直しをしております。				今後も継続して参ります。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等サービス計画の見直し	半年毎に時期が来ましたら計画の見直しを行っております。				今後も継続して参ります。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	必要に応じて参加しています。				今後も継続して参ります。
	2 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在該当者がいません。				
	3 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在該当者がいません。				
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小・学部）等との間で支援内容等の十分な情報共有	必要になった場合に実施しています。				今後も継続して参ります。
	5 放課後等サービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれぞれの支援内容等についての十分な情報提供	現在該当者がいません。				必要になれば、迅速に対応いたします。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受入れの促進	必要に応じて連携しており、研修にも参加しております。				今後も継続して参ります。
	7 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関との交流や、放課後等サービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在行っておりません。	7	12	5	現在、交流のような機会は特に設けておりませんが、今後必要に応じて実施して参ります。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所が活動するフィールドが校外にあり、当該の地域住民の方との交流を心掛けております。				今後も継続して参ります。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始時に一通り説明させていただいております。	24			
	2 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	放課後等サービス計画を示しながら支援内容の説明を行っております。	24			今後も継続して参ります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会を実施し、その際にお子様への関わり方のポイントなどは共有させていただいております。	17	5	2	モニタリング等を利用して、保護者様のご家庭の様子や関わり方を共有させてさせて頂くよう心掛けております。その際、対応力の向上を図る観点を大切にしながら「同じ目標を持って共に進めよう」という意識を持つなど、今後もペアレント・トレーニング等の支援にも取り組んで参ります。
	4 子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	システムに記載したり、送迎時に子どもの状況をお伝えさせていただいております。	24			今後も、ハグシステムのサービス提供記録と併せて、各運動内容に応じて「動画・zoom参照」などお子様の様子をタイムリーにお伝えできるよう取り組んで参ります。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	個別にご相談いただいた内容について、必要に応じて可能な限り対応させていただきます。	24			ご契約時やモニタリング時に、お子様の成長に合わせてご支援ができるよう取り組んで参ります。今後も、保護者様やお子様のニーズに対応できるよう、きめ細やかなご支援を心掛けて参ります。
	6 父母会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	定期的に保護者会を実施し、保護者様同士の連携支援を行っております。	17	5	2	交流会や説明会の実施を行う事により、保護者様の連携がご支援できる場を設けております。今後も時期や状況に応じて、活動支援の機会を設けて参りたいと思っております。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に事象に十分に説明し、了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等サービス計画への	契約書に記載しており、契約時にも説明を行っております。事実があった場合は速やかに保護者へ説明を行っております。	21	3		お子様が安全で安心できるプログラムを実施できるよう、職員全員が意向に沿って取り組んで参ります。様々な場面に際して、「本来に於いて」という意識を大切にしながら取り組んで参ります。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子様に対しては、視覚支援など、理解しやすい方法で伝達を行っています。保護者様には、当日システムにて教育内容を報告しております。急ぎの件は、電話やLINEを活用して発信しております。	24			お子様や保護者様が内容を十分に満足頂けるよう、意思の疎通や情報伝達のための配慮に取り組んで参ります。今後も、視覚や聴覚の支援・ハグシステム・電話・LINE等を十分に活用しながら前向きに取り組んで参ります。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	SNSにて情報の発信を行っております。	24			スポーツの取り組みはもちろん、お子様の様子など、より理解を深めて頂けるよう、今後も情報の発信に取り組んで参ります。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員間でも情報の取扱いについては厳しく管理しており、外部に持ち出さないようにしております。	24			今後も継続して参ります。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを作成しておりますが、まだ周知が徹底されていない部分があります。	16	7	1	防災訓練の様子や研修の内容など、「各マニュアルの実践部分」を公表・公開していきより、ご利用者様への周知徹底が深まるよう取り組んで参ります。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練を行い、スタッフの動きを確認しております。	17	7		今後も継続して参ります。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	定期的に虐待防止研修を行っております。				今後も継続して参ります。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等サービス計画への	契約書に記載しており、契約時にも説明を行っております。				今後も継続して参ります。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始時にアレルギーに関する聞き取りを行っております。聞き取り内容をシステムに入力し、お子様の利用日にシステム表示されるようになっているため、見逃さないように徹底しております。				今後も継続して参ります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が出た時点で社内共有し、改善及び防止策を検討しております。				今後も継続して参ります。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	季節、フィールドが活かせるようなプログラムをチーム全体で計画し、お子様が楽しめるプログラムを提供するよう努めております。	24			年間を4クールに分けた「スポーツマニュアル」に応じて、「目標・指針・活動内容・振り返り・課題」を職員間で共有しながら、お子様お一人おひとりの満足し、達成感や自信に繋いでいるようなプログラム展開を心掛けて取り組んで参ります。
	2 事業所の支援に満足しているか	事業所内や野外活動時でクッキング等の内容も取り入れてきました。また長期休暇だからこそ楽しめるプログラムも職員間で話し合い決めています。	22	2		季節やお子様の興味・関心・ご成長に応じて、スポーツならではの特化型プログラムの内容を吟味しております。今後も、お子様はもちろん、保護者様のご支援にも繋がるようなご支援を提供できるよう取り組んで参ります。送迎につきましては、現状での利用者のご希望にお応えできていない状況です。今後、ひとりでも多くのご希望に添えられるよう取り組んで参ります。